



## ごあいさつ

盛夏の候 皆さまにおかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご愛顧、お引立てを賜り有難く厚くお礼申し上げます。

さて、平成27年度の日本経済は、企業収益こそ堅調に推移したものの個人消費の低迷、中国経済の景気減速、世界同時株安等により企業の設備投資意欲が慎重となったことから足踏み状態が続きました。

地方経済は、事業所数の減少や歯止めのかからない人口減少、高齢化等により依然として厳しい状況が続いておりますが、当地域においては大型風力発電施設が着工予定など再生可能エネルギー関連ビジネスの将来に向けた可能性が高まっています。また、観光面においてはFDAチャーター機の路線拡大などにより稚内空港の利用者数が前年より増加しました。加えて、海外からの観光客が徐々に増加するなど期待が高まっております。

このような中、当金庫の業績は、業容の拡大や経営の健全性を高める諸施策を推進した結果、預金・貸出金の期中平均残高で預金は4,119億31百万円で前期比2.55%増加、貸出金は870億50百万円で前期比1.97%増加となり順調に推移致しました。

また、収益面では経常利益で16億48百万円、税引後当期純利益は11億34百万円を確保することができました。剰余金の処分につきましては、自己資本充実のため、その大部分を特別積立金等で内部留保することと致しました。この剰余金処分の結果、会員勘定は491億30百万円（内、配当負担の無い利益剰余金は484億82百万円）となり、自己資本比率も63.01%と、極めて健全な経営体質を堅持しております。

今後も「地域との共存共栄」を掲げる信条の下、地域社会の発展に寄与すべく、役職員一同不断の経営努力を傾注して参る所存でございますので、何卒、変わらぬご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

平成28年7月1日

理事長 **増田 雅俊**

《資料編》

### CONTENTS [主な内容]

P 1	信条・マークコンセプト
P 2	事業概況
P 6	自己資本
P 9	市場占有率

P 10	不良債権の状況
P 12	健全経営
P 14	総代会機能
P 16	地域貢献・トピックス
P 18	相互意見交流

P 21	第72期事業概況
P 38	自己資本の充実状況
P 50	事業のご案内
P 55	稚内しんきんの概要
P 58	索引